

重要視していない	3	(3.2%)
やや重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
b-1. 他の歯科医師・歯科衛生士等と常に情報交換する。		
重要視している	58	(62.4%)
やや重要視している	28	(30.1%)
やや重要視していない	1	(1.1%)
重要視していない	1	(1.1%)
無回答	5	(5.4%)
b-2. 歯科衛生士等に適切に指示する。		
重要視している	33	(36.5%)
やや重要視している	41	(44.1%)
やや重要視していない	13	(14.0%)
重要視していない	4	(4.3%)
無回答	2	(2.2%)
c. 地域医療に参画する。		
重要視している	27	(29.0%)
やや重要視している	41	(44.1%)
やや重要視していない	18	(19.4%)
重要視していない	5	(5.4%)
無回答	2	(2.2%)

Q30 2. 歯科医師臨床研修<臨床研修コース>(1) 救急処置		
【カシオパタシ(マトリックス)】(回答数:91件)		
a. ハイタルサインを観察し、異常を評価する。		
重要視している	77	(82.8%)
やや重要視している	13	(14.0%)
やや重要視していない	1	(1.1%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
b. 服用薬物の歯科診療に関連する副作用を説明する。		
重要視している	67	(72.0%)
やや重要視している	22	(23.7%)
やや重要視していない	1	(1.1%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	3	(3.2%)
c. 全身症候の歯科診療上のリスクを説明する。		
重要視している	75	(80.6%)
やや重要視している	15	(16.1%)
やや重要視していない	1	(1.1%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
d. 歯科診療時の全身的合併症への対処法を説明する。		
重要視している	72	(77.4%)
やや重要視している	17	(18.3%)
やや重要視していない	2	(2.2%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
e. 一次救命処置を実施する。		
重要視している	65	(69.9%)
やや重要視している	22	(23.7%)
やや重要視していない	4	(4.3%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
f. 二次救命処置の対処法を説明する。		
重要視している	40	(43.0%)
やや重要視している	40	(43.0%)
やや重要視していない	9	(9.7%)
重要視していない	2	(2.2%)
無回答	2	(2.2%)

Q31 2. 歯科医師臨床研修<臨床研修コース>(2) 医療安全・感染予防

【カシオパタシ(マトリックス)】(回答数:91件)		
a. 医療安全対策を説明する。		
重要視している	65	(69.9%)
やや重要視している	23	(24.7%)
やや重要視していない	3	(3.2%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
b. アクシレント及びインシデントを説明する。		
重要視している	64	(68.8%)
やや重要視している	23	(24.7%)
やや重要視していない	3	(3.2%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	3	(3.2%)
c-1. 医療事故について説明する。		
重要視している	66	(71.0%)
やや重要視している	20	(21.5%)
やや重要視していない	5	(5.4%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
c-2. エアソールについて説明する。		
重要視している	68	(73.1%)
やや重要視している	18	(19.4%)
やや重要視していない	5	(5.4%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
d. 院内感染対策(Standard Precautions を含む)を説明する。		
重要視している	82	(86.7%)
やや重要視している	22	(23.7%)
やや重要視していない	6	(6.5%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	3	(3.2%)
e. 院内感染対策を実施する。		
重要視している	69	(74.2%)
やや重要視している	21	(22.6%)
やや重要視していない	1	(1.1%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
f. 院内感染対策を説明する。		
重要視している	74	(78.6%)
やや重要視している	16	(17.2%)
やや重要視していない	1	(1.1%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
g-1. 常に感染防止に配慮する。		
重要視している	76	(81.7%)
やや重要視している	15	(16.1%)
やや重要視していない	0	(0.0%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)
g-2. 感染防止対策を実施する。		
重要視している	75	(80.6%)
やや重要視している	15	(16.1%)
やや重要視していない	0	(0.0%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	3	(3.2%)

Q32 2. 歯科医師臨床研修<臨床研修コース>(3) 経過評価管理		
【カシオパタシ(マトリックス)】(回答数:91件)		
a. リコーシステムの重要性を説明する。		
重要視している	33	(35.5%)
やや重要視している	42	(45.2%)
重要視していない	12	(12.9%)

c. 適切な放射線管理を実施する。

重要視している	42	(45.2%)
やや重要視している	36	(38.7%)
やや重要視していない	12	(12.9%)
重要視していない	1	(1.1%)
無回答	2	(2.2%)

c-1. 患者、医療従事者等の意識に配慮する。

重要視している	52	(55.9%)
やや重要視している	34	(36.0%)
やや重要視していない	4	(4.3%)
重要視していない	1	(1.1%)
無回答	2	(2.2%)

c-2. 放射線防護を実施する。

重要視している	58	(62.4%)
やや重要視している	25	(26.9%)
やや重要視していない	5	(5.4%)
重要視していない	1	(1.1%)
無回答	4	(4.3%)

d. 廃棄物を適切に処理する。

重要視している	62	(66.7%)
やや重要視している	25	(26.9%)
やや重要視していない	4	(4.3%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

e-1. 廃棄物を分別する。

重要視している	62	(66.7%)
やや重要視している	26	(28.0%)
やや重要視していない	3	(3.2%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

e-2. 感染性廃棄物を安全に取り扱う。

重要視している	68	(73.1%)
やや重要視している	17	(18.3%)
やや重要視していない	4	(4.3%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	4	(4.3%)

Q35 2. 歯科医師臨床研修＜基本研修コース＞(6)地域医療
【ラジオボタン(マトリックス)】(回答数:91件)

a. 地域歯科保健活動を説明する。

重要視している	29	(31.2%)
やや重要視している	34	(36.5%)
やや重要視していない	20	(21.5%)
重要視していない	7	(7.5%)
無回答	3	(3.2%)

b. 歯科訪問診療を説明する。

重要視している	21	(22.6%)
やや重要視している	36	(38.7%)
やや重要視していない	16	(17.2%)
重要視していない	17	(18.3%)
無回答	3	(3.2%)

c. 歯科訪問診療を体験する。

重要視している	20	(21.5%)
やや重要視している	29	(31.2%)
やや重要視していない	19	(20.4%)
重要視していない	22	(23.7%)
無回答	3	(3.2%)

d. 医療連携を説明する。

重要視している	46	(49.5%)
やや重要視している	33	(35.5%)
やや重要視していない	10	(10.8%)
重要視していない	0	(0.0%)

重要視していない

4	(4.3%)
2	(2.2%)

b. 治療の結果を評価する。

重要視している	47	(50.5%)
やや重要視している	34	(36.6%)
やや重要視していない	10	(10.8%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

Q33 2. 歯科医師臨床研修＜基本研修コース＞(4)予防・治療技術
【ラジオボタン(マトリックス)】(回答数:91件)

a. 専門的な分野の情報を収集する。

重要視している	48	(51.6%)
やや重要視している	37	(39.8%)
やや重要視していない	6	(6.5%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

a-1. 積極的に情報を求める。

重要視している	47	(50.5%)
やや重要視している	36	(38.7%)
やや重要視していない	7	(7.5%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	3	(3.2%)

a-2. 求める情報を検索する。

重要視している	48	(51.6%)
やや重要視している	33	(35.5%)
やや重要視していない	10	(10.8%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

b. 専門的な分野を体験する。

重要視している	46	(49.5%)
やや重要視している	36	(38.7%)
やや重要視していない	9	(9.7%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

c. POS(Problem Oriented System)を説明する。

重要視している	44	(47.3%)
やや重要視している	36	(38.7%)
やや重要視していない	11	(11.8%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	2	(2.2%)

d. EBM(Evidence Based Medicine)を説明する。

重要視している	43	(46.2%)
やや重要視している	39	(41.9%)
やや重要視していない	8	(8.6%)
重要視していない	1	(1.1%)
無回答	2	(2.2%)

Q34 2. 歯科医師臨床研修＜基本研修コース＞(6)医療管理
【ラジオボタン(マトリックス)】(回答数:91件)

a. 歯科医療機関の経営管理を説明する。

重要視している	15	(16.1%)
やや重要視している	32	(34.4%)
やや重要視していない	35	(37.8%)
重要視していない	9	(9.7%)
無回答	2	(2.2%)

b. 常に必要に応じた医療情報の収集を行う。

重要視している	38	(40.9%)
やや重要視している	40	(43.0%)
やや重要視していない	10	(10.8%)
重要視していない	2	(2.2%)
無回答	3	(3.2%)

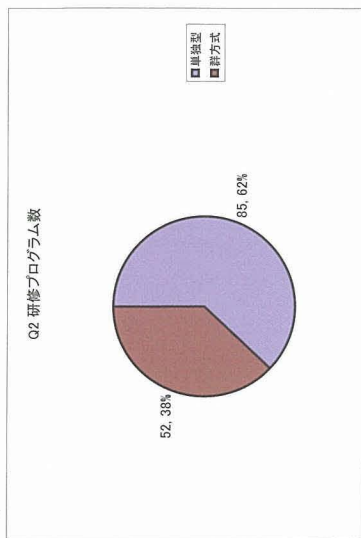
戻る

別添資料 7

管理型／単独型臨床研修施設向け研修の効果に関するアンケート

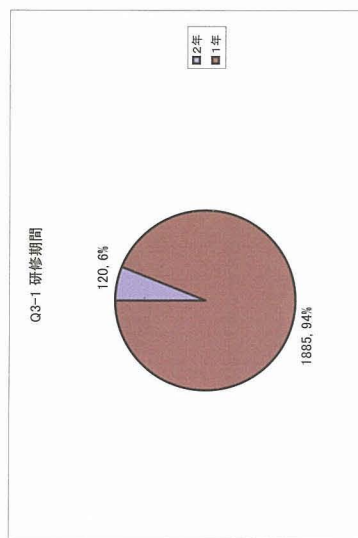
Q2 研修プログラム数 (プログラム)

単独型	85
群方式	52
回答数	137



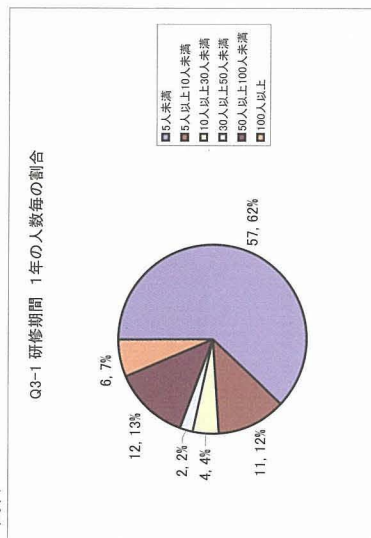
Q3-1 研修期間 (人)

2年	120
1年	1885
	2005



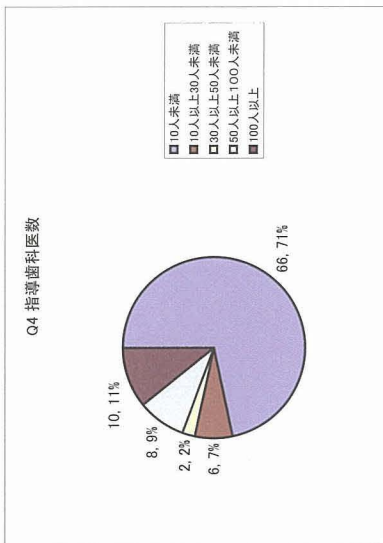
※Q3-1 研修期間 1年の人数毎の割合

5人未満	57
5人以上10人未満	11
10人以上30人未満	4
30人以上50人未満	2
50人以上100人未満	12
100人以上	6
	92



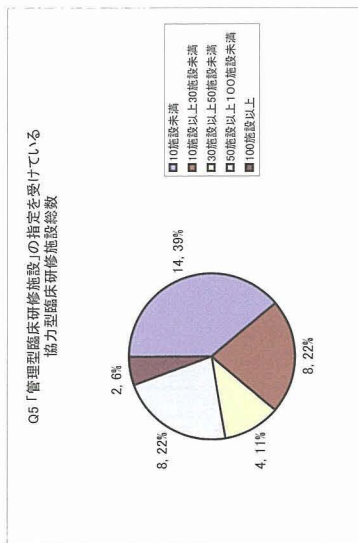
Q4 指導歯科医数 (人)

10人未満	66
10人以上30人未満	6
30人以上50人未満	2
50人以上100人未満	8
100人以上	10
	92



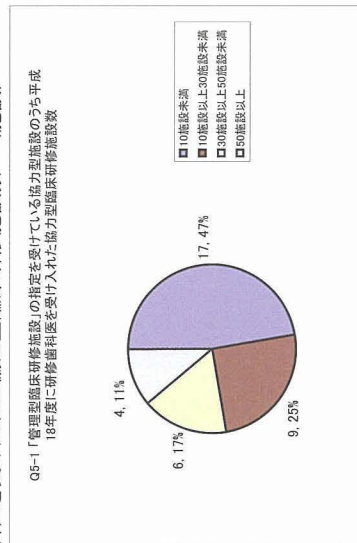
Q5 Q1にて「管理型臨床研修施設」と答えられた方に質問です。
貴施設の指定を受けている協力型臨床研修施設総数 (施設)

10施設未満	14
10施設以上30施設未満	8
30施設以上50施設未満	4
50施設以上100施設未満	8
100施設以上	2
	36



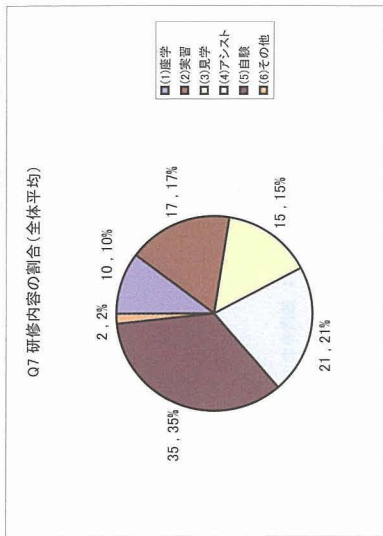
Q5-1 Q1にて「管理型臨床研修施設」と答えられた方に質問です。
Q5のうち平成18年度に研修歯科医を受け入れた協力型臨床研修施設数 (施設)

10施設未満	17
10施設以上30施設未満	9
30施設以上50施設未満	6
50施設以上	4
	30



Q7 すべての研修内容を100%として、各研修内容の%を記入してください。(全体平均)
複数のプログラムがある場合は、定員が最も大きいプログラムについて回答してください。

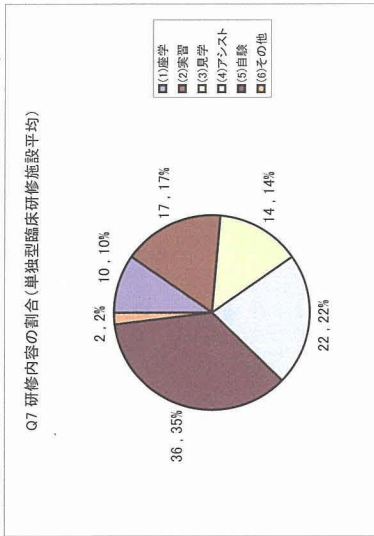
(1)座学	10
(2)実習	17
(3)見学	15
(4)アシスト	21
(5)自験	35
(6)その他	2
	100



注:全体で100%となっていないデータは集計対象外とした。

Q7 すべての研修内容を100%として、各研修内容の%を記入してください。単独型臨床研修施設
(単独型臨床研修施設 平均)
複数のプログラムがある場合は、定員が最も大きいプログラムについて回答してください。

(1)座学	10
(2)実習	17
(3)見学	14
(4)アシスト	22
(5)自験	36
(6)その他	2
	100



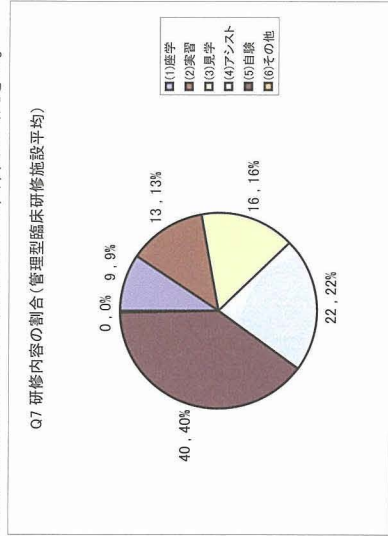
注:全体で100%となっていないデータは集計対象外とした。

Q7 すべての研修内容を100%として、各研修内容の%を記入してください。管理型臨床研修施設
(管理型臨床研修施設 平均)

複数のプログラムがある場合は、定員が最も大きいプログラムについて回答してください。

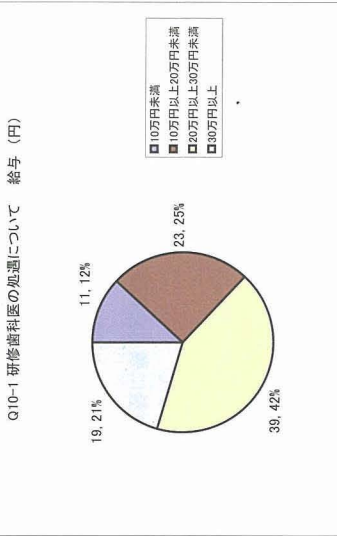
(1) 座学	9
(2) 実習	13
(3) 見学	16
(4) アシスト	22
(5) 自験	40
(6) その他	0
合計	100

注：全体で100%となっていないデータは集計対象外とした。



Q10-1 研修歯科医の処遇について 給与 (円)

10万円未満	11
10万円以上20万円未満	23
20万円以上30万円未満	39
30万円以上	19
回答数	92

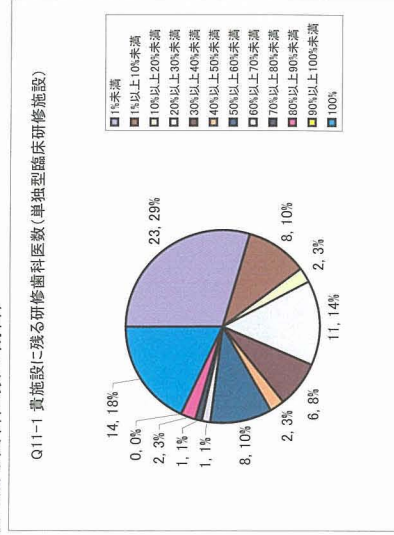


Q11-1 Q11にて「単独型臨床研修施設」と答えた方に質問です。研修歯科医の進路について
貴施設に残る研修歯科医数 (人)

単独型臨床研修施設の研修歯科医の進路について

(現在の研修医数に対して、貴施設に残る歯科医数の割合)

1%未満	23
1%以上10%未満	8
10%以上20%未満	2
20%以上30%未満	11
30%以上40%未満	6
40%以上50%未満	2
50%以上60%未満	8
60%以上70%未満	1
70%以上80%未満	1
80%以上90%未満	2
90%以上100%未満	0
100%	14
回答数	78

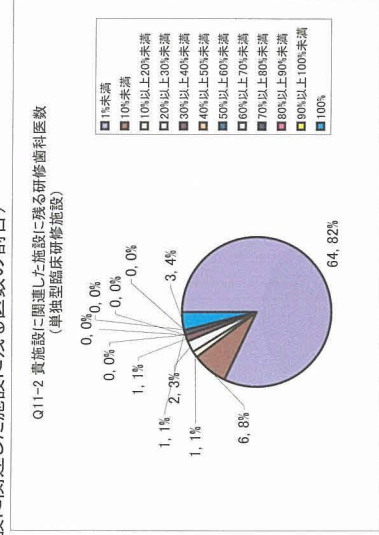


Q11-2 Q11にて「単独型臨床研修施設」と答えた方に質問です。研修歯科医の進路について
貴施設に関連した施設に残る研修歯科医数 (人)

単独型臨床研修施設の研修歯科医の進路について

(現在の研修医数に対して、貴施設に関連した施設に残る医数の割合)

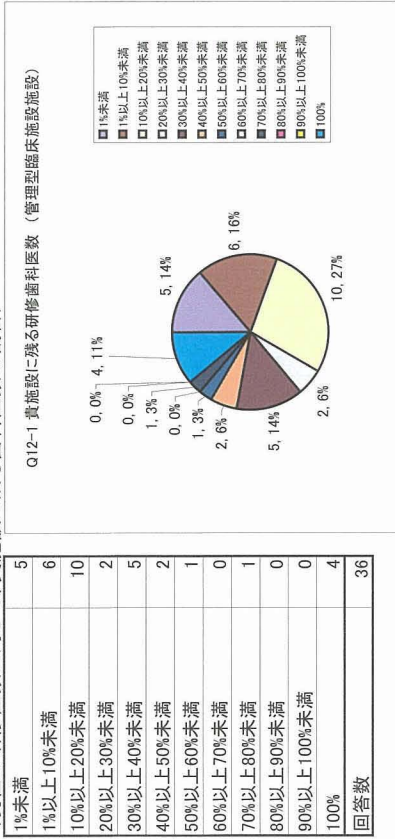
1%未満	64
10%未満	6
10%以上20%未満	1
20%以上30%未満	2
30%以上40%未満	1
40%以上50%未満	0
50%以上60%未満	0
60%以上70%未満	0
70%以上80%未満	1
80%以上90%未満	0
90%以上100%未満	0
100%	3
回答数	78



Q12-1 Q11にて「管理型臨床施設」と答えた方に質問です。研修歯科医の進路について
貴施設に残る研修歯科医数（人）

管理型臨床施設に残る研修歯科医の進路について

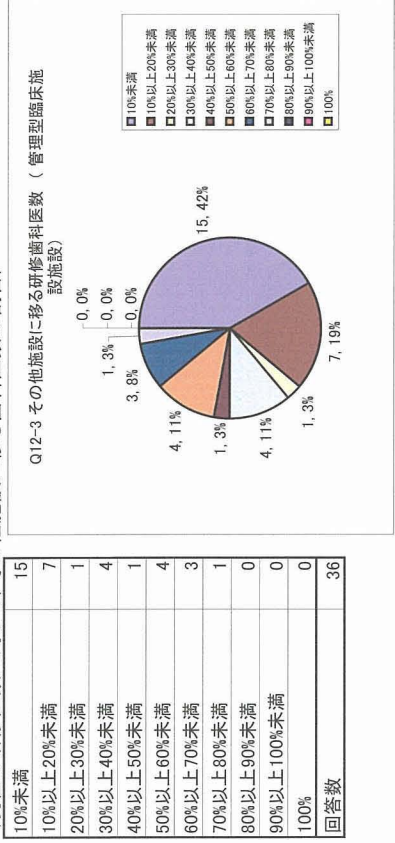
（現在の研修医数に対して、貴施設に残る歯科医数の割合）



Q12-3 Q11にて「管理型臨床施設」と答えた方に質問です。研修歯科医の進路について
その他施設に移る研修歯科医数（人）

管理型臨床施設に移る研修歯科医の進路について

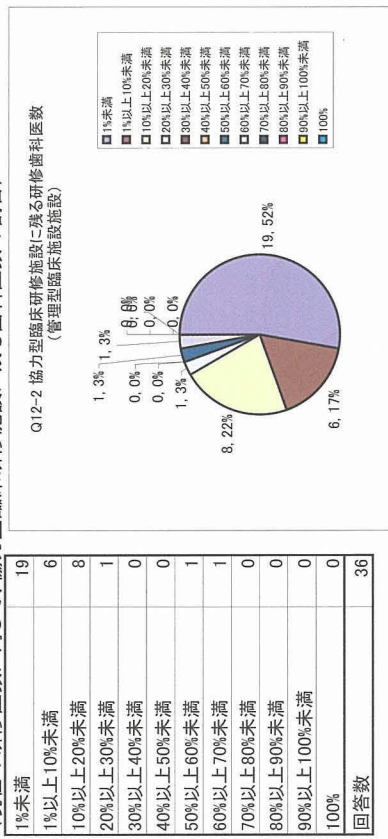
（現在の研修医数に対して、その他施設に移る歯科医数の割合）



Q12-2 Q11にて「管理型臨床施設」と答えた方に質問です。研修歯科医の進路について
協力型臨床施設に残る研修歯科医数（人）

管理型臨床施設に残る研修歯科医の進路について

（現在の研修医数に対して、協力型臨床施設に残る歯科医数の割合）



公開一塩方型臨床研修施設向け研修の効果に関するアンケート

無回答数 310人

【必須入力チェック項目】 チェック種数(件)
【チェックボックス】 (回答数: 310件)

Q1 研修施設の種類は、		
単独型臨床研修施設	3	(1.0%)
管理型臨床研修施設	2	(0.6%)
協力型臨床研修施設	309	(98.7%)
無回答	0	(0.0%)

【必須入力チェック項目】

Q2 研修施設の運用形態を回答ください。
【ラジオボタン】 (回答数: 310件)

在籍型	244	(78.7%)
完全移籍型	66	(21.3%)
無回答	0	(0.0%)

Q3 研修施設医業が入れ期間
【質問を省く質問】

【必須入力チェック項目】

Q3-1
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】

Q3-2
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】 (回答数: 212件)

Q3-3
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】

Q4 研修施設数
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】

Q5 貴施設が指定を受けている管理型臨床研修施設数
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】

Q5-1 Q5のうちの平成16年度に貴施設に研修医を派遣した管理型臨床研修施設数
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】

Q6 貴施設すべての研修医を100%以上、各研修内容の%を記入してください。
【数値入力チェック項目】 (回答数: 310件)

【必須入力チェック項目】

Q6-1 Q6のうちの%以上を回答された方は、研修内容に記入してください。
【数値入力チェック項目】 (回答数: 49件)

【必須入力チェック項目】 チェック種数(件)
【チェックボックス】 (回答数: 310件)

研修医科医業	182	(61.9%)
ポートフォリオ	85	(27.4%)
研修記録	131	(42.3%)
口頭説明	214	(69.0%)
レポート	124	(40.0%)
症例検討会における発表	112	(36.1%)
その他	18	(5.8%)

【必須入力チェック項目】

Q8 貴施設の研修医科医業の指導上のための取り組みについてお答えください。
【ラジオボタン】 (回答数: 310件)

院内FＤの開催	178	(57.4%)
管理型臨床研修施設主催のFDへの参加	86	(28.4%)
管理型臨床研修施設主催以外のFDへの参加	29	(9.4%)
その他	15	(4.8%)
無回答	0	(0.0%)

【必須入力チェック項目】 チェック種数(件)
【ラジオボタン】 (回答数: 310件)

大学病院	243	(78.4%)
インターネット	174	(56.1%)
書籍	166	(53.5%)
臨床医誌	77	(24.8%)
研修会	147	(47.4%)
産科材料業者	45	(14.5%)
大学病院と提携している勤務医	72	(23.2%)
研修会	53	(17.1%)
その他	18	(5.8%)
無回答	0	(0.0%)

Q10 研修医科医業の知識について
(在籍型) 回答が入っている場合は、わかる範囲で記入してください。
【質問を省く質問】

※Q2で 完全移籍型 と回答された方への質問

【必須入力チェック項目】

Q10-1 起年(必須)
【数値入力チェック項目】 (回答数: 214件)

※Q2で 完全移籍型 と回答された方への質問

【必須入力チェック項目】

Q10-2 交通費の支給(必須)
【ラジオボタン】 (回答数: 284件)

有	153	(49.4%)
無	141	(46.5%)
無回答	16	(5.2%)

※Q2で 完全移籍型 と回答された方への質問

【必須入力チェック項目】

Q10-3 残業手当(必須)
【ラジオボタン】 (回答数: 295件)

有	51	(16.5%)
無	244	(78.7%)
無回答	15	(4.8%)

※Q2で 完全移籍型 と回答された方への質問

【必須入力チェック項目】

Q10-4 在宅(必須)
【ラジオボタン】 (回答数: 299件)

有	87	(28.1%)
無	212	(68.4%)
無回答	11	(3.5%)

※Q2で 完全移籍型 と回答された方への質問

【必須入力チェック項目】

Q10-5 社会保険の加入(必須)
【ラジオボタン】 (回答数: 293件)

有	169	(54.5%)
無	124	(40.0%)
無回答	17	(5.5%)

【必須入力チェック項目】
Q15 研修進捗確認研修は、研修者の資質の向上に貢献したと思いが、
【ラジオボタン】(回答数:310件)

貢献した	119	(38.4%)
少し貢献した	141	(45.5%)
あまり貢献していない	39	(12.5%)
貢献していない	11	(3.5%)
無回答	0	(0.0%)

Q16 研修進捗確認に重点を置くこと
【ラジオボタン】(回答数:197件)

【必須入力チェック項目】

Q17 適切な全体の研修期間は
【ラジオボタン】(回答数:310件)

1年	183	(59.0%)
2年	119	(38.4%)
その他	8	(2.6%)
無回答	0	(0.0%)

【必須入力チェック項目】

Q18 適切な臨床研修期間の研修期間は
【ラジオボタン】(回答数:310件)

3ヶ月	28	(9.0%)
6ヶ月	142	(45.8%)
1年	111	(35.8%)
その他	29	(9.4%)
無回答	0	(0.0%)

Q19 看護型臨床研修期間に含むこと
【ラジオボタン】(回答数:168件)

Q20 順に含むこと
【ラジオボタン】(回答数:164件)

Q21 1 臨床研修医が研修者より基本研修コース (1) 基礎臨床研修の進捗目標よりも研修者の資質向上に寄与している
【ラジオボタン】(回答数:403件)

a 研修(生活、研修、責任及び卒業)の進捗は

重要視している	235	(75.9%)
やや重要視している	65	(21.0%)
やや重要視していない	6	(1.9%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	3	(1.0%)

a-1 研修者の研修を評価する。

重要視している	281	(84.2%)
やや重要視している	43	(13.9%)
やや重要視していない	2	(0.6%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	4	(1.3%)

a-2 研修者の研修を評価して評価する。

重要視している	184	(59.4%)
やや重要視している	104	(33.3%)
やや重要視していない	15	(4.8%)
重要視していない	3	(1.0%)
無回答	4	(1.3%)

b 研修を卒業に促す。

重要視している	204	(65.9%)
やや重要視している	84	(30.3%)
やや重要視していない	8	(2.6%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	4	(1.3%)

c 研修者の心理・社会的背景に配慮する。

重要視している	179	(57.7%)
やや重要視している	112	(36.1%)
やや重要視していない	9	(2.9%)
重要視していない	5	(1.6%)

【必須入力チェック項目】
Q10-6 労働環境の改善は、研修者の資質の向上に貢献したと思いが、
【ラジオボタン】(回答数:282件)

有	189	(61.0%)
無	103	(33.2%)
無回答	18	(5.8%)

Q11 研修進捗確認の進捗について
【質問を答へ質問】

【必須入力チェック項目】

Q11-1 資質向上に寄与する研修進捗確認
【ラジオボタン】(回答数:310件)

【必須入力チェック項目】

Q11-2 資質向上に寄与する研修進捗確認は、研修者の資質向上に寄与している
【ラジオボタン】(回答数:310件)

【必須入力チェック項目】「チェック項目」
Q12 研修進捗確認に重点を置くことについて選択してください。
【ラジオボタン】(回答数:310件)

研修進捗確認の充実	73	(23.5%)
研修の質の向上	61	(19.7%)
大学間での交流	134	(43.2%)
最新情報の入手	33	(10.8%)
研修進捗確認を指導することによる指導者の自己研 修	208	(67.1%)
研修所の活気の向上	170	(54.8%)
来院患者の増加	13	(4.2%)
指導能力の向上	93	(30.0%)
日本の産科医療向上への貢献	180	(58.1%)
研修への意識	147	(47.4%)
無回答	0	(0.0%)

【必須入力チェック項目】「チェック項目」
Q13 受け入れ研修医の進捗について、あてはまる項目を全て回答ください。
【ラジオボタン】(回答数:310件)

研修進捗確認の意欲・態度研修	120	(38.7%)
研修進捗確認の知識レベル	128	(41.3%)
研修進捗確認の技術レベル	180	(58.1%)
医療事故、過誤	94	(30.3%)
患者との信頼関係	176	(56.8%)
産科医との信頼関係	44	(14.2%)
他のスタッフとの信頼関係	80	(25.8%)
報酬に對けられる時間	174	(56.1%)
来院患者数	40	(12.9%)
診療所の収益	112	(36.1%)
社会貢献、労働環境	47	(15.2%)
研修進捗確認への給与	84	(30.3%)
研修進捗確認の生活	52	(16.8%)
診療所の設備(スペース、インターネット)	36	(11.6%)
受け入れ期間	104	(33.5%)
管理型臨床研修施設との連携	60	(19.4%)
研修生としての経験	179	(57.7%)
その他	9	(2.9%)
無回答	0	(0.0%)

【必須入力チェック項目】

Q14 研修進捗確認に重点を置くことについて
【ラジオボタン】(回答数:310件)

今年度より多数	44	(14.2%)
今年度と同数	205	(66.1%)
今年度より少数	33	(10.8%)
受け入れない	28	(9.0%)
無回答	0	(0.0%)

無回答	5	(1.6%)
d. 患者・家族に必要な情報を十分に提供する。		
重要視している	177	(57.1%)
やや重要視している	107	(34.5%)
やや重要視していない	19	(6.1%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	5	(1.6%)
e. 患者の自己決定を尊重する。		
重要視している	187	(60.3%)
やや重要視している	102	(32.9%)
やや重要視していない	17	(5.5%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	4	(1.3%)
f. 患者のプライバシーを守る。		
重要視している	230	(74.2%)
やや重要視している	67	(21.6%)
やや重要視していない	5	(1.6%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	7	(2.3%)
g. 患者の心身におけるQOL (Quality of Life) に配慮する。		
重要視している	207	(66.8%)
やや重要視している	89	(28.7%)
やや重要視していない	9	(2.9%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	4	(1.3%)
h. 患者教育と治療への動機付けを行う。		
重要視している	178	(57.4%)
やや重要視している	113	(36.5%)
やや重要視していない	12	(3.9%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	5	(1.6%)

Q22 「腫瘍内科医研修者・基本習熟コース」(2)総合診療計画
 (ランボウオン(マトリックス)) (回答数: 205名)

a. 適切な予防法の手技を実施する。

重要視している	207	(66.5%)
やや重要視している	89	(28.7%)
やや重要視していない	8	(1.9%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	6	(1.9%)

e-1. 必要な医療情報を列挙する。

重要視している	156	(50.3%)
やや重要視している	125	(40.3%)
やや重要視していない	20	(6.5%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	8	(2.6%)

a-2. 医療情報を十分に収集する。

重要視している	185	(59.7%)
やや重要視している	103	(33.2%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	8	(2.6%)

b. 基本的な診断・検査を実施する。

重要視している	232	(74.8%)
やや重要視している	63	(20.3%)
やや重要視していない	6	(1.9%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	8	(2.6%)

c. 基本的な診断・検査の所見を判断する。

重要視している	228	(72.5%)
やや重要視している	69	(22.3%)
やや重要視していない	8	(2.6%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	6	(1.9%)

i. 得られた情報から判断する。

重要視している	221	(71.3%)
---------	-----	---------

やや重要視している	72	(23.2%)
やや重要視していない	10	(3.2%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	6	(1.9%)
e. 適切と居られる治療法及び別の選択法を提示する。		
重要視している	191	(61.6%)
やや重要視している	98	(31.6%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	6	(1.9%)
e-1. 適切な治療法を選択する。		
重要視している	202	(65.2%)
やや重要視している	93	(30.0%)
やや重要視していない	6	(1.9%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	7	(2.3%)
e-2. 妥当な治療法をすべて患者に提示する。		
重要視している	169	(54.6%)
やや重要視している	108	(34.8%)
やや重要視していない	24	(7.7%)
重要視していない	3	(1.0%)
無回答	6	(1.9%)
f. 十分な説明による患者の自己決定を確保する。		
重要視している	222	(71.6%)
やや重要視している	84	(26.8%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	7	(2.3%)
g. 一口程度位の治療計画を作成する。		
重要視している	187	(60.3%)
やや重要視している	96	(31.0%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	5	(1.6%)
無回答	9	(2.9%)

Q23 「腫瘍内科医研修者・基本習熟コース」(3)予防・治療基本技術
 (ランボウオン(マトリックス)) (回答数: 302名)

a. 基本的な予防法の手技を実施する。

重要視している	190	(61.3%)
やや重要視している	99	(31.9%)
やや重要視していない	12	(3.9%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	8	(2.6%)

b. 基本的な治療法の手技を実施する。

重要視している	208	(67.1%)
やや重要視している	80	(26.8%)
やや重要視していない	11	(3.5%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	10	(3.2%)

c. 医療記録を適切に作成する。

重要視している	185	(59.7%)
やや重要視している	100	(32.3%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	12	(3.9%)

d. 医療記録を適切に管理する。

重要視している	156	(50.3%)
やや重要視している	117	(37.7%)
やや重要視していない	24	(7.7%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	11	(3.5%)

e-1. 個人情報の取扱いに配慮する。

重要視している	191	(61.6%)
やや重要視している	91	(29.4%)
やや重要視していない	17	(5.5%)
重要視していない	1	(0.3%)

無回答	10	(3.2%)
α-2 医師経験を管理する。		
重要視している	159	(51.3%)
やや重要視している	115	(37.1%)
やや重要視していない	21	(6.8%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	13	(4.2%)

Q24-1 歯科医師臨床研修＜基本習熟コース＞(4) 応急処置
【ラジカブタン(マトリックス)】(回答数: 303件)

α 疼痛に対する基本的な治療を実施する。

重要視している	228	(73.5%)
やや重要視している	69	(22.3%)
やや重要視していない	6	(1.9%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	7	(2.3%)

β 歯、口腔及び顔面の外傷に対する基本的な治療を実施する。

重要視している	137	(44.2%)
やや重要視している	116	(37.4%)
やや重要視していない	40	(12.9%)
重要視していない	9	(2.9%)
無回答	8	(2.6%)

γ 修繕物、補綴装置等の脱離と感染及び不適合に対する適切な処置を実施する。

重要視している	178	(57.4%)
やや重要視している	105	(33.9%)
やや重要視していない	19	(6.1%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	6	(2.6%)

Q25-1 歯科医師臨床研修＜基本習熟コース＞(5) 高頻度治療
【ラジカブタン(マトリックス)】(回答数: 309件)

α ラジカブタンの基本的な治療を実施する。

重要視している	235	(75.8%)
やや重要視している	62	(20.0%)
やや重要視していない	6	(1.9%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	7	(2.3%)

β 歯周疾患の基本的な治療を実施する。

重要視している	212	(68.4%)
やや重要視している	82	(26.5%)
やや重要視していない	9	(2.9%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	7	(2.3%)

γ 歯周疾患の基本的な治療を実施する。

重要視している	215	(69.4%)
やや重要視している	75	(24.2%)
やや重要視していない	10	(3.2%)
重要視していない	0	(0.0%)
無回答	10	(3.2%)

δ 抜歯の基本的な処置を実施する。

重要視している	180	(61.3%)
やや重要視している	95	(30.6%)
やや重要視していない	14	(4.5%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	10	(3.2%)

ε 咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実施する。

重要視している	147	(47.4%)
やや重要視している	122	(38.4%)
やや重要視していない	28	(9.0%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	9	(2.9%)

Q26-1 歯科医師臨床研修＜基本習熟コース＞(6) 医科看護・地域医療
【ラジカブタン(マトリックス)】(回答数: 304件)

α 病院診療を実施する。

重要視している	182	(58.7%)
---------	-----	---------

重要視している 89 | (31.9%) |

やや重要視している 20 | (6.5%) |

やや重要視していない 2 | (0.6%) |

重要視していない 7 | (2.3%) |

無回答 | |

α-1 保険診療について説明する。

重要視している	168	(54.2%)
やや重要視している	103	(33.2%)
やや重要視していない	27	(8.7%)
重要視していない	5	(1.6%)
無回答	7	(2.3%)

α-2 適切な保険診療を実施する。

重要視している	187	(60.3%)
やや重要視している	86	(31.0%)
やや重要視していない	17	(5.5%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	9	(2.9%)

β デーム治療を実施する。

重要視している	194	(62.6%)
やや重要視している	89	(28.7%)
やや重要視していない	17	(5.5%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	8	(2.6%)

γ-1 他の歯科医師・歯科衛生士等と密に情報交換する。

重要視している	198	(63.9%)
やや重要視している	91	(29.4%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	7	(2.3%)

γ-2 歯科衛生士等に適切に指示する。

重要視している	150	(48.6%)
やや重要視している	120	(38.7%)
やや重要視していない	25	(8.1%)
重要視していない	5	(1.6%)
無回答	10	(3.2%)

δ 治療計画に参画する。

重要視している	98	(31.6%)
やや重要視している	122	(39.4%)
やや重要視していない	88	(28.7%)
重要視していない	23	(7.4%)
無回答	9	(2.9%)

Q27-2 歯科医師臨床研修＜基本習熟コース＞(1) 緊急処置
【ラジカブタン(マトリックス)】(回答数: 305件)

α ハイタルガンを観察し、異物を排除する。

重要視している	170	(54.8%)
やや重要視している	108	(34.8%)
やや重要視していない	21	(6.8%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	5	(1.6%)

β 服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。

重要視している	160	(51.9%)
やや重要視している	119	(38.4%)
やや重要視していない	23	(7.4%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	4	(1.3%)

γ 全身症候の歯科診療上のリスクを説明する。

重要視している	187	(60.3%)
やや重要視している	98	(31.6%)
やや重要視していない	16	(5.2%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	7	(2.3%)

δ 歯科診療時の全身的合併症への対応法を説明する。

重要視している	155	(50.0%)
やや重要視している	118	(38.1%)
やや重要視していない	27	(8.7%)
重要視していない	4	(1.3%)

無回答	0	(1.9%)
1. 患者の処置を継続する。		
重要視している	134	(43.2%)
やや重要視している	113	(36.5%)
やや重要視していない	46	(14.8%)
重要視していない	12	(3.9%)
無回答	5	(1.6%)
2. 二次救命処置の処置法を説明する。		
重要視している	97	(31.3%)
やや重要視している	131	(42.3%)
やや重要視していない	60	(19.4%)
重要視していない	16	(5.2%)
無回答	6	(1.9%)

Q29 2. 歯科医師臨床研修で基本習得コース> (2) 患者安全・感染予防
【アンケートシステム(マトリックス)】(回答数: 306件)

a. 患者安全対策を説明する。

重要視している	163	(52.9%)
やや重要視している	116	(37.4%)
やや重要視していない	20	(6.5%)
重要視していない	5	(1.6%)
無回答	6	(1.9%)

b. アクシレント及びインシデントを説明する。

重要視している	164	(52.9%)
やや重要視している	116	(37.4%)
やや重要視していない	22	(7.1%)
重要視していない	3	(1.0%)
無回答	5	(1.6%)

c. 1. 医療過誤について説明する。

重要視している	156	(50.3%)
やや重要視している	126	(40.6%)
やや重要視していない	19	(5.8%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	6	(1.9%)

c-2. セラピットについて説明する。

重要視している	153	(49.4%)
やや重要視している	127	(41.0%)
やや重要視していない	20	(6.5%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	6	(1.9%)

c. 医療過誤について説明する。

重要視している	153	(49.4%)
やや重要視している	122	(39.4%)
やや重要視していない	23	(7.4%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	6	(2.6%)

d. 院内感染対策(Standard Precautionsを含む)を説明する。

重要視している	191	(61.8%)
やや重要視している	87	(31.3%)
やや重要視していない	14	(4.5%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	6	(1.9%)

e. 院内感染対策を実施する。

重要視している	210	(67.7%)
やや重要視している	81	(26.1%)
やや重要視していない	9	(2.9%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	6	(2.6%)

e-1. 院内感染防止に配慮する。

重要視している	223	(71.9%)
やや重要視している	71	(22.9%)
やや重要視していない	7	(2.3%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	7	(2.3%)

e-2. 感染防止対策を実施する。

重要視している	218	(70.3%)
---------	-----	---------

やや重要視している	75	(24.2%)
やや重要視していない	6	(1.9%)
重要視していない	2	(0.6%)
無回答	9	(2.9%)

Q28 2. 歯科医師臨床研修で基本習得コース> (3) 経過評価管理
【アンケートシステム(マトリックス)】(回答数: 298件)

a. カラーリングシステムの重要性を説明する。

重要視している	167	(53.9%)
やや重要視している	100	(32.3%)
やや重要視していない	27	(8.7%)
重要視していない	3	(1.0%)
無回答	13	(4.2%)

b. 治療の結果を評価する。

重要視している	186	(60.0%)
やや重要視している	95	(30.6%)
やや重要視していない	16	(5.2%)
重要視していない	1	(0.3%)
無回答	12	(3.9%)

Q30 2. 歯科医師臨床研修で基本習得コース> (4) 予防・治療技術
【アンケートシステム(マトリックス)】(回答数: 904件)

a. 専門的な分野の情報を収集する。

重要視している	150	(48.4%)
やや重要視している	124	(40.0%)
やや重要視していない	26	(8.4%)
重要視していない	3	(1.0%)
無回答	7	(2.3%)

e-1. 積極的に情報を求める。

重要視している	185	(50.0%)
やや重要視している	118	(38.1%)
やや重要視していない	27	(8.7%)
重要視していない	3	(1.0%)
無回答	7	(2.3%)

e-2. 求める情報を検索する。

重要視している	127	(41.0%)
やや重要視している	136	(44.5%)
やや重要視していない	29	(9.4%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	10	(3.2%)

b. 専門的な分野を体験する。

重要視している	123	(39.7%)
やや重要視している	133	(42.9%)
やや重要視していない	34	(11.0%)
重要視していない	7	(2.3%)
無回答	13	(4.2%)

c. POS(Problem Oriented System)を説明する。

重要視している	109	(35.2%)
やや重要視している	138	(44.5%)
やや重要視していない	47	(15.2%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	10	(3.2%)

d. EBM(Evidence Based Medicine)を説明する。

重要視している	152	(49.0%)
やや重要視している	118	(38.1%)
やや重要視していない	27	(8.7%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	7	(2.3%)

Q31 2. 歯科医師臨床研修で基本習得コース> (5) 臨床管理
【アンケートシステム(マトリックス)】(回答数: 308件)

a. 歯科医療機関の経営管理を説明する。

重要視している	70	(22.8%)
やや重要視している	129	(41.6%)
やや重要視していない	73	(23.5%)
重要視していない	33	(10.8%)

無回答	5	(1.6%)
重要視している	128	(41.6%)
やや重要視している	130	(41.9%)
やや重要視していない	36	(11.6%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	9	(2.9%)
重要視している	173	(55.9%)
やや重要視している	91	(28.4%)
やや重要視していない	34	(11.0%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	6	(1.9%)
重要視している	182	(61.9%)
やや重要視している	87	(28.1%)
やや重要視していない	18	(6.1%)
重要視していない	5	(1.6%)
無回答	7	(2.3%)
重要視している	206	(66.5%)
やや重要視している	79	(25.5%)
やや重要視していない	15	(4.9%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	6	(1.9%)
重要視している	206	(66.5%)
やや重要視している	72	(23.2%)
やや重要視していない	21	(6.8%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	7	(2.3%)
重要視している	195	(62.9%)
やや重要視している	83	(26.8%)
やや重要視していない	20	(6.5%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	8	(2.6%)
重要視している	206	(66.5%)
やや重要視している	75	(24.2%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	12	(3.9%)

戻る

無回答	5	(1.6%)
重要視している	128	(41.6%)
やや重要視している	130	(41.9%)
やや重要視していない	36	(11.6%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	9	(2.9%)
重要視している	173	(55.9%)
やや重要視している	91	(28.4%)
やや重要視していない	34	(11.0%)
重要視していない	6	(1.9%)
無回答	6	(1.9%)
重要視している	182	(61.9%)
やや重要視している	87	(28.1%)
やや重要視していない	18	(6.1%)
重要視していない	5	(1.6%)
無回答	7	(2.3%)
重要視している	206	(66.5%)
やや重要視している	79	(25.5%)
やや重要視していない	15	(4.9%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	6	(1.9%)
重要視している	206	(66.5%)
やや重要視している	72	(23.2%)
やや重要視していない	21	(6.8%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	7	(2.3%)
重要視している	195	(62.9%)
やや重要視している	83	(26.8%)
やや重要視していない	20	(6.5%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	8	(2.6%)
重要視している	206	(66.5%)
やや重要視している	75	(24.2%)
やや重要視していない	13	(4.2%)
重要視していない	4	(1.3%)
無回答	12	(3.9%)

Q32-2 歯科医師間の医療格差を大きくする要因として最も重要だと感じるものを教えてください。(複数回答可)

a. 地域間格差の拡大を助長する

重要視している	104	(33.5%)
やや重要視している	110	(35.5%)
やや重要視していない	65	(21.0%)
重要視していない	25	(8.1%)
無回答	6	(1.9%)

b. 歯科医師の診療を妨げる

重要視している	101	(32.6%)
やや重要視している	94	(30.3%)
やや重要視していない	68	(21.9%)
重要視していない	40	(12.9%)
無回答	7	(2.3%)

c. 歯科医師の診療を妨げる

重要視している	103	(33.2%)
やや重要視している	82	(26.5%)
やや重要視していない	65	(21.0%)
重要視していない	54	(17.4%)
無回答	6	(1.9%)

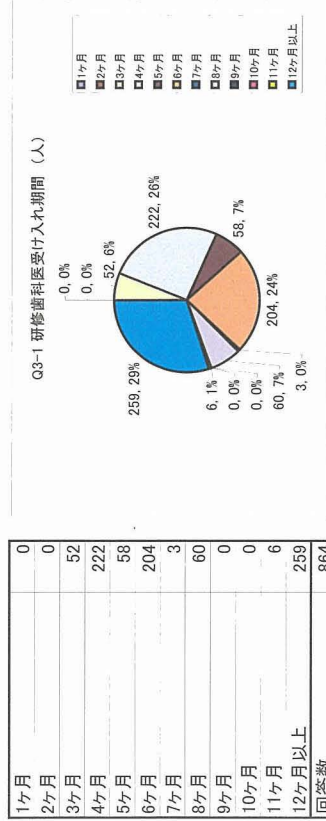
d. 医療格差を助長する

重要視している	128	(41.3%)
---------	-----	---------

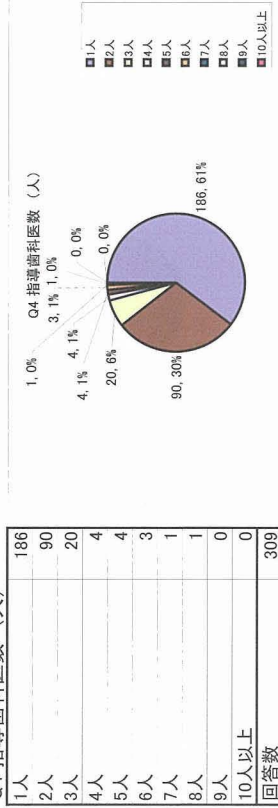
別添資料 9

協力型臨床研修施設向け研修の効果に関するアンケート

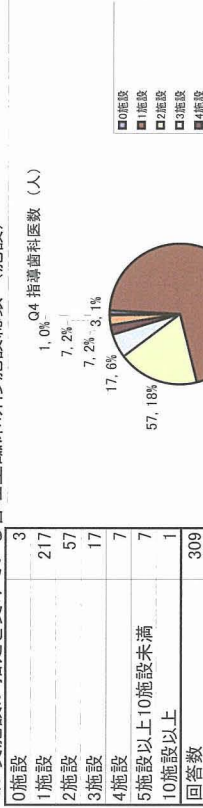
Q3-1 研修歯科医受け入れ期間 (人)



Q4 指導歯科医数 (人)

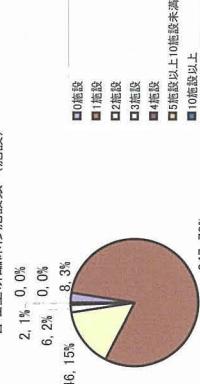


Q5 貴施設が指定を受けている管理型臨床研修施設総数 (施設)



0施設	8
1施設	247
2施設	46
3施設	6
4施設	2
5施設以上10施設未満	0
10施設以上	0
回答数	309

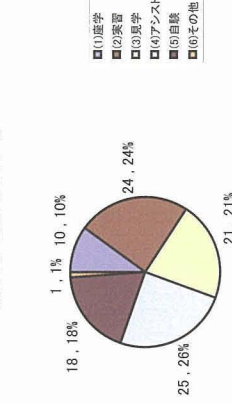
Q6-1 Q5のうち平成18年度に貴施設に研修歯科医を派遣した管理型臨床研修施設数 (施設)



Q6 貴施設すべての研修内容を100%として、各研修内容の%を記入してください。(全体平均)

(1)座学	10
(2)実習	24
(3)見学	21
(4)アシスト	25
(5)自験	18
(6)その他	1

Q7 研修内容の割合 (全体平均)

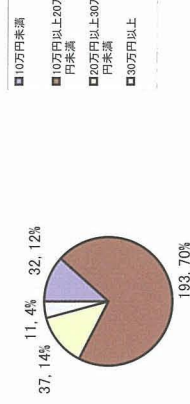


注：全体で100%となっていないデータは集計対象外とした。

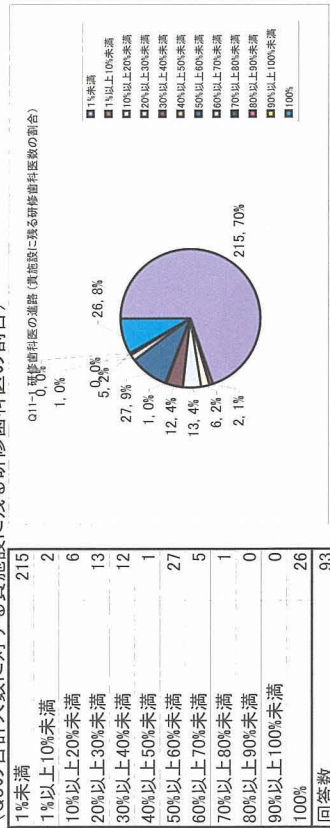
Q10-1 研修歯科医の処遇について (在籍型出向で受け入れている場合は、わかる範囲で記入してください。給与 (円))

10万円未満	32
10万円以上20万円未満	193
20万円以上30万円未満	37
30万円以上	11
回答数	273

Q10-1 研修歯科医の処遇について (給与)

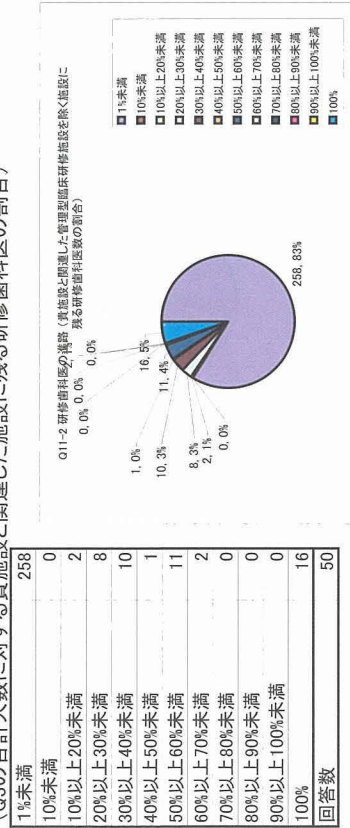


Q11-1 研修歯科医の進路について 貴施設に残る研修歯科医数（人）
 (Q3の合計人数に対する貴施設に残る研修歯科医の割合)



注: 受入れ0人の場合は集計対象外とした。

Q11-2 研修歯科医の進路について 貴施設と関連した施設(管理型臨床研修施設は除く)に残る研修歯科医数（人）
 (Q3の合計人数に対する貴施設と関連した施設に残る研修歯科医の割合)



注: 受入れ0人の場合は集計対象外とした。

厚生労働科学研究費補助金（厚生労働科学特別研究事業）
分担研究報告書

「研修歯科医のメンタルヘルス調査に関する研究」

分担研究者 秋山仁志（日本歯科大学附属病院助教授）

研究協力者 宮武光吉（財団法人歯科医療研修振興財団理事）

研究要旨：平成 18 年度に必修化された歯科医師臨床研修により、歯科診療に従事しようとする歯科医師は 1 年間以上の歯科医師臨床研修を行うことが義務付けられた。研修歯科医のメンタルヘルスについて、包括的、多角的に評価を行い、研修歯科医のメンタルヘルスの把握について調査を行った。回答者数は 638 名であり、平成 18 年度に臨床研修を実施している全研修歯科医の 24.1% から回答を得た。研修歯科医全体でみた場合、健康リスクは 102.83 であり、健康問題が起きるリスクが全国一般の標準的な集団と比較してほとんど変わらない傾向があることが認められた。また、歯科大学病院（単独型）での臨床研修は研修歯科医のストレスが少なく、一般病院歯科（単独型）では研修歯科医のストレスが高くなる傾向があることが認められた。また、研修歯科医の 4 割以上が「抑うつ状態」である可能性があることが認められた。

A. 研究目的

平成 18 年 4 月より歯科医師臨床研修制度が必修化され、歯科診療に従事しようとする歯科医師は 1 年間以上の歯科医師臨床研修を行うことが義務付けられた。研修歯科医が精神的、経済的に安定して研修に専念できるような研修体制を整備することは、研修歯科医の資質の向上を努めるためにも必要であり、また研修歯科医の職場における健康管理上、重要な問題である。さらに国民に対して安全な歯科医療の提供する観点からも研修環境の整備は極めて重要である。

今回、歯科医師の資質向上に対する効果や歯科医療現場への影響について調査、分析し、新制度の有効性、効率性を評価するとともに、制度の見直しのための基礎的資料を得ることを目的として、研修歯科医のメンタルヘルスについて、包括的、多角的に評価を行い、必修化初年度における研修歯科医のメンタルヘルスの把握について調査を行った。

B. 研究方法

1. 対象

平成 18 年度に新歯科医師臨床研修制度で臨床

研修を行っているすべての研修歯科医 (2,647 名) を対象とした。

2. 調査期間とアンケート方法

調査期間は、平成 19 年 2 月 22 日から平成 19 年 3 月 7 日までとした。研修歯科医対象のアンケート調査は、厚生労働省が運営する歯科医師臨床研修プログラム検索サイト D-REIS (<http://www.d-reis.org>) からリンクを張った「新歯科医師臨床研修制度の評価に関する調査研究」のホームページ上で回答ができるように整備した。アンケートを回答する研修歯科医は、本研究班ホームページ <http://www.drmp.jp/kenkyuhan> にアクセス後、アンケートリスト中の「研修歯科医の方」をクリックし、所属の研修施設にあらかじめ配布したログイン ID、パスワードを入力の上、研修歯科医向けアンケートのページへと進む。研修歯科医向けアンケートページ中に「研修歯科医のメンタルヘルスに関する調査」があり、アンケート開始をクリックし、設問に回答する。すべての回答の終了後、最後に送信ボタンを押し、確認のページに進み、確認のページの最下部の送信ボタンを押して終了とする。

メンタルヘルスに関するアンケート調査は、本研究班ホームページ上に実施責任者および実施者と実施目的を明示した。また、ログイン時にのみ部外者の侵入を防止するために、ログインID、パスワードを必要としたが、アンケートに対する回答に関しては、研修歯科医の自由意志で行い、強制力がないものとした。さらに研修歯科医に不利益をもたらさないように、個人の識別を不可能とし、プライバシーの保護に関しては十分に配慮した。

3. ストレス調査項目

アンケート調査項目数は、すべての設問に回答するのに5~10分程度の時間で終わることができるように設定した。調査項目は、研修施設の種別についての1項目、協力型施設数についての1項目、研修修了後の今後の予定についての1項目、ストレス要因の認知として、簡易職業性ストレス評価票¹⁾の57項目、ストレス反応としての抑うつ状態の評価に抑うつ状態自己評価尺度(CES-D)(The Center For Epidemiologic Studies-Depression、株式会社千葉テストセンター)²⁾の20項目の合計80項目とした。

研修歯科医のメンタルヘルスに関するアンケートで使用した調査票は、表1に示す。

3. 倫理面への配慮

本研究は、東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会の審査の結果、承認を得て施行した。

4. 分析方法

職業性ストレス簡易調査票¹⁾の各調査項目は、臨床研修施設の種別ごとに、各尺度に該当する項目の点数を算出し、その点数を5段階に換算して評価する標準化得点を用いた方法を用いて分析した。さらに仕事のストレス判定図として、仕事の量的負担と仕事のコントロールをストレス要因として、それらから算出されたストレス度を健康リスクとしてプロットして表現した「量-コントロール判定図」、同僚の支援と上司の支援から作成する「職場の支援判定図」を作成し、健康リスクを算出した。

抑うつ状態自己評価尺度(CES-D)²⁾は、スクリーニングテストの1つであり、幼児から成人とその適用範囲は広く、実施判定が簡便である。抑うつ気分、不眠、食欲低下などのうつ病の主要症状が含まれた20項目の設問から構成され、設問の4, 8, 12, 16項目は逆転項目として組み込まれており、4段階評価で0~3点に換算して集計する³⁾。抑うつ状態自己評価尺度(CES-D)²⁾のCut-off point(区分点)は、16点であり、16点以上を「抑うつ状態」とし、「抑うつ状態」の割合を調べた。

C. 研究結果

1. アンケート調査結果

研修歯科医のメンタルヘルスに関するアンケートの総回答者数は、638名であり、全研修歯科医の24.1%から回答を得た。

1) 研修施設の種別でみた割合

研修施設の種別でみた割合は、大学病院(管理型)+診療所(協力型)が309名(48.4%)、歯科大学病院(単独型)が183名(28.7%)、大学病院(管理型)+病院歯科(協力型)が73名(11.4%)、病院口腔外科(単独型)が47名(7.4%)、一般病院歯科(単独型)が12名(1.9%)、一般病院歯科(管理型)+診療所(協力型)が5名(0.8%)、病院口腔外科(管理型)+診療所(協力型)が2名(0.3%)、診療所(管理型)+診療所(協力型)が1名(0.2%)、その他が6名(0.9%)であった。

2) 研修済(または予定)の協力型施設数でみた割合

単独型が234名(36.7%)、1施設が286名(44.8%)、2施設が106名(16.6%)、3施設以上が12名(1.9%)であった。

3) 研修修了後の今後の予定

別の医療機関に就職が247名(38.7%)、研修した医療機関に就職が174名(27.3%)、大学院へ進学が145名(22.7%)、その他が72名(11.3%)であった。

4) 職業性ストレス簡易調査票¹⁾における「仕事について」の項目でみた割合

(1)「非常にたくさんのことをしなければならぬ」への回答

「そうだ」が190名(29.8%)、「まあそうだ」が276名(43.3%)、「ややちがう」が128名(20.1%)、「ちがう」が44名(6.9%)であった。

(2)「時間内に仕事を処理しきれない」への回答

「そうだ」が150名(23.5%)、「まあそうだ」が243名(38.1%)、「ややちがう」が178名(27.9%)、「ちがう」が67名(10.5%)であった。

(3)「一生懸命働かなければならない」への回答

「そうだ」が342名(53.6%)、「まあそうだ」が227名(35.6%)、「ややちがう」が51名(8.0%)、「ちがう」が18名(2.8%)であった。

(4)「かなり注意を集中する必要がある」への回答

「そうだ」が331名(51.9%)、「まあそうだ」が253名(39.7%)、「ややちがう」が43名(6.7%)、「ちがう」が11名(1.7%)であった。

(5)「高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ」への回答

「そうだ」が265名(41.5%)、「まあそうだ」が265名(41.5%)、「ややちがう」が82名(12.9%)、「ちがう」が26名(4.1%)であった。

(6)「勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない」への回答

「そうだ」が207名(32.4%)、「まあそうだ」が256名(40.1%)、「ややちがう」が146名(22.9%)、「ちがう」が29名(4.5%)であった。

(7)「からだを大変よく使う仕事だ」への回答

「そうだ」が225名(35.3%)、「まあそうだ」が258名(40.4%)、「ややちがう」が125名(19.6%)、「ちがう」が30名(4.7%)であった。

(8)「自分のペースで仕事ができる」への回答

「そうだ」が61名(9.6%)、「まあそうだ」が204名(32.0%)、「ややちがう」が243名(38.1%)、「ちがう」が130名(20.4%)であった。

(9)「自分で仕事の順番・やり方を決めることができる」への回答

「そうだ」が80名(12.5%)、「まあそうだ」

が249名(39.0%)、「ややちがう」が198名(31.0%)、「ちがう」が111名(17.4%)であった。

(10)「職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる」への回答

「そうだ」が53名(8.3%)、「まあそうだ」が234名(36.7%)、「ややちがう」が216名(33.9%)、「ちがう」が135名(21.2%)であった。

(11)「自分の技術や知識を仕事で使うことが少ない」への回答

「そうだ」が43名(6.7%)、「まあそうだ」が141名(22.1%)、「ややちがう」が290名(45.5%)、「ちがう」が164名(25.7%)であった。

(12)「私の部署内で意見の食い違いがある」への回答

「そうだ」が79名(12.4%)、「まあそうだ」が243名(38.1%)、「ややちがう」が221名(34.6%)、「ちがう」が95名(14.9%)であった。

(13)「私の部署と他の部署とはうまく合わない」への回答

「そうだ」が61名(9.6%)、「まあそうだ」が136名(21.3%)、「ややちがう」が285名(44.7%)、「ちがう」が156名(24.5%)であった。

(14)「私の職場の雰囲気は友好的である」への回答

「そうだ」が198名(31.0%)、「まあそうだ」が337名(52.8%)、「ややちがう」が69名(10.8%)、「ちがう」が34名(5.3%)であった。

(15)「私の職場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)はよくない」への回答

「そうだ」が63名(9.9%)、「まあそうだ」が140名(21.9%)、「ややちがう」が252名(39.5%)、「ちがう」が183名(28.7%)であった。

(16)「仕事の内容は自分にあっている」への回答

「そうだ」が114名(17.9%)、「まあそうだ」が376名(58.9%)、「ややちがう」が107名(16.8%)、「ちがう」が41名(6.4%)であった。

(17)「働きがいのある仕事だ」への回答

「そうだ」が211名(33.1%)、「まあそうだ」が331名(51.9%)、「ややちがう」が63名(9.9%)、

「ちがう」が33名(5.2%)であった。

5) 職業性ストレス簡易調査票¹⁾における「最近1カ月間のあなたの状態について」の項目でみた割合

(1) 「活気がわいてくる」への回答

「ほとんどなかった」が107名(16.8%)、「ときどきあった」が270名(42.3%)、「しばしばあった」が187名(29.3%)、「ほとんどいつもあった」が74名(11.6%)であった。

(2) 「元気がいっぱいだ」への回答

「ほとんどなかった」が108名(16.9%)、「ときどきあった」が267名(41.8%)、「しばしばあった」が180名(28.2%)、「ほとんどいつもあった」が83名(13.0%)であった。

(3) 「生き生きする」への回答

「ほとんどなかった」が119名(18.7%)、「ときどきあった」が256名(40.1%)、「しばしばあった」が185名(29.0%)、「ほとんどいつもあった」が78名(12.2%)であった。

(4) 「怒りを感じる」への回答

「ほとんどなかった」が154名(24.1%)、「ときどきあった」が287名(45.0%)、「しばしばあった」が145名(22.7%)、「ほとんどいつもあった」が52名(8.2%)であった。

(5) 「内心腹立たしい」への回答

「ほとんどなかった」が172名(27.0%)、「ときどきあった」が261名(40.9%)、「しばしばあった」が151名(23.7%)、「ほとんどいつもあった」が54名(8.5%)であった。

(6) 「イライラしている」への回答

「ほとんどなかった」が157名(24.6%)、「ときどきあった」が286名(44.8%)、「しばしばあった」が135名(21.2%)、「ほとんどいつもあった」が60名(9.4%)であった。

(7) 「ひどく疲れた」への回答

「ほとんどなかった」が89名(13.9%)、「ときどきあった」が252名(39.5%)、「しばしばあった」が168名(26.3%)、「ほとんどいつもあった」が129名(20.2%)であった。

(8) 「へとへとだ」への回答

「ほとんどなかった」が154名(24.1%)、「と

きどきあった」が243名(38.1%)、「しばしばあった」が134名(21.0%)、「ほとんどいつもあった」が107名(16.8%)であった。

(9) 「だるい」への回答

「ほとんどなかった」が139名(21.8%)、「ときどきあった」が270名(42.3%)、「しばしばあった」が132名(20.7%)、「ほとんどいつもあった」が97名(15.2%)であった。

(10) 「気がはりつめている」への回答

「ほとんどなかった」が132名(20.7%)、「ときどきあった」が249名(39.0%)、「しばしばあった」が153名(24.0%)、「ほとんどいつもあった」が104名(16.3%)であった。

(11) 「不安だ」への回答

「ほとんどなかった」が151名(23.7%)、「ときどきあった」が265名(41.5%)、「しばしばあった」が134名(21.0%)、「ほとんどいつもあった」が88名(13.8%)であった。

(12) 「落ち着きがない」への回答

「ほとんどなかった」が236名(37.0%)、「ときどきあった」が259名(40.6%)、「しばしばあった」が88名(13.8%)、「ほとんどいつもあった」が55名(8.6%)であった。

(13) 「ゆううつだ」への回答

「ほとんどなかった」が188名(29.5%)、「ときどきあった」が244名(38.2%)、「しばしばあった」が124名(19.4%)、「ほとんどいつもあった」が82名(12.9%)であった。

(14) 「何をするのも面倒だ」への回答

「ほとんどなかった」が260名(40.8%)、「ときどきあった」が236名(37.0%)、「しばしばあった」が84名(13.2%)、「ほとんどいつもあった」が58名(9.1%)であった。

(15) 「物事に集中できない」への回答

「ほとんどなかった」が299名(46.9%)、「ときどきあった」が247名(38.7%)、「しばしばあった」が55名(8.6%)、「ほとんどいつもあった」が37名(5.8%)であった。

(16) 「気分が晴れない」への回答

「ほとんどなかった」が215名(33.7%)、「ときどきあった」が257名(40.3%)、「しばしばあった」が90名(14.1%)、「ほとんどいつもあった

た」が76名(11.9%)であった。

(17)「仕事が手につかない」への回答

「ほとんどなかった」が400名(62.7%)、「ときどきあった」が172名(27.0%)、「しばしばあった」が42名(6.6%)、「ほとんどいつもあった」が24名(3.8%)であった。

(18)「悲しいと感じる」への回答

「ほとんどなかった」が332名(52.0%)、「ときどきあった」が197名(30.9%)、「しばしばあった」が64名(10.0%)、「ほとんどいつもあった」が45名(7.1%)であった。

(19)「めまいがする」への回答

「ほとんどなかった」が441名(69.1%)、「ときどきあった」が140名(21.9%)、「しばしばあった」が30名(4.7%)、「ほとんどいつもあった」が27名(4.2%)であった。

(20)「体のふしぶしが痛む」への回答

「ほとんどなかった」が396名(62.1%)、「ときどきあった」が162名(25.4%)、「しばしばあった」が48名(7.5%)、「ほとんどいつもあった」が32名(5.0%)であった。

(21)「頭が重かったり頭痛がする」への回答

「ほとんどなかった」が337名(52.8%)、「ときどきあった」が199名(31.2%)、「しばしばあった」が73名(11.4%)、「ほとんどいつもあった」が29名(4.5%)であった。

(22)「首筋や肩がこる」への回答

「ほとんどなかった」が169名(26.5%)、「ときどきあった」が189名(29.6%)、「しばしばあった」が161名(25.2%)、「ほとんどいつもあった」が119名(18.7%)であった。

(23)「腰が痛い」への回答

「ほとんどなかった」が205名(32.1%)、「ときどきあった」が212名(33.2%)、「しばしばあった」が138名(21.6%)、「ほとんどいつもあった」が83名(13.0%)であった。

(24)「目が疲れる」への回答

「ほとんどなかった」が124名(19.4%)、「ときどきあった」が230名(36.1%)、「しばしばあった」が171名(26.8%)、「ほとんどいつもあった」が113名(17.7%)であった。

(25)「動悸や息切れがする」への回答

「ほとんどなかった」が475名(74.5%)、「ときどきあった」が113名(17.7%)、「しばしばあった」が28名(4.4%)、「ほとんどいつもあった」が22名(3.4%)であった。

(26)「胃腸の具合が悪い」への回答

「ほとんどなかった」が328名(51.4%)、「ときどきあった」が190名(29.8%)、「しばしばあった」が79名(12.4%)、「ほとんどいつもあった」が41名(6.4%)であった。

(27)「食欲がない」への回答

「ほとんどなかった」が436名(68.3%)、「ときどきあった」が146名(22.9%)、「しばしばあった」が39名(6.1%)、「ほとんどいつもあった」が17名(2.7%)であった。

(28)「便秘や下痢をする」への回答

「ほとんどなかった」が344名(53.9%)、「ときどきあった」が183名(28.7%)、「しばしばあった」が64名(10.0%)、「ほとんどいつもあった」が47名(7.4%)であった。

(29)「よく眠れない」への回答

「ほとんどなかった」が404名(63.3%)、「ときどきあった」が146名(22.9%)、「しばしばあった」が52名(8.2%)、「ほとんどいつもあった」が36名(5.6%)であった。

6) 職業性ストレス簡易調査票¹⁾における「あなたの周りの方々について」の項目でみた割合

(1)「次の人たちにはどのくらい気軽に話ができますか」への回答

a. 上司

「非常に」が106名(16.6%)、「かなり」が187名(29.3%)、「多少」が292名(45.8%)、「全くない」が53名(8.3%)であった。

b. 職場の同僚

「非常に」が271名(42.5%)、「かなり」が252名(39.5%)、「多少」が99名(15.5%)、「全くない」が16名(2.5%)であった。

c. 配偶者、家族、友人等

「非常に」が384名(60.2%)、「かなり」が188名(29.5%)、「多少」が55名(8.6%)、「全くない」が11名(1.7%)であった。

(2)「あなたが困った時、次の人たちはどのくら

い頼りになりますか」への回答

a. 上司

「非常に」が146名(22.9%)、「かなり」が233名(36.5%)、「多少」が210名(32.9%)、「全くない」が49名(7.7%)であった。

b. 職場の同僚

「非常に」が184名(28.8%)、「かなり」が267名(41.8%)、「多少」が150名(23.5%)、「全くない」が37名(5.8%)であった。

c. 配偶者、家族、友人等

「非常に」が307名(48.1%)、「かなり」が223名(35.0%)、「多少」が94名(14.7%)、「全くない」が14名(2.2%)であった。

(3)「あなたが個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか」への回答

a. 上司

「非常に」が122名(19.1%)、「かなり」が211名(33.1%)、「多少」が247名(38.7%)、「全くない」が58名(9.1%)であった。

b. 職場の同僚

「非常に」が166名(26.0%)、「かなり」が272名(42.6%)、「多少」が171名(26.8%)、「全くない」が29名(4.5%)であった。

c. 配偶者、家族、友人等

「非常に」が342名(53.6%)、「かなり」が217名(34.0%)、「多少」が68名(10.7%)、「全くない」が11名(1.7%)であった。

7) 職業性ストレス簡易調査票¹⁾における「満足度について」の項目でみた割合

(1)「仕事に満足だ」への回答

「満足」が133名(20.8%)、「まあ満足」が337名(52.8%)、「やや不満足」が101名(15.8%)、「不満足」が67名(10.5%)であった。

(2)「家庭生活に満足だ」への回答

「満足」が208名(32.6%)、「まあ満足」が305名(47.8%)、「やや不満足」が90名(14.1%)、「不満足」が35名(5.5%)であった。

8) 抑うつ状態自己評価尺度(CES-D)²⁾の項目でみた割合

(1)「普段ではなんでもないことがわずらわしか

った」への回答

「ない」が328名(51.4%)、「週に1~2日」が229名(35.9%)、「週に3~4日」が48名(7.5%)、「週に5日以上」が33名(5.2%)であった。

(2)「食べなくなかった・食欲がなかった」への回答

「ない」が476名(74.6%)、「週に1~2日」が128名(20.1%)、「週に3~4日」が19名(3.0%)、「週に5日以上」が15名(2.4%)であった。

(3)「たとえば家族や友人が助けてくれたとしても、ゆううつな気分は晴れないと感じた」への回答

「ない」が398名(62.4%)、「週に1~2日」が181名(28.4%)、「週に3~4日」が33名(5.2%)、「週に5日以上」が26名(4.1%)であった。

(4)「自分は、他の人と同じくらいに価値があると感じた」への回答

「ない」が296名(46.4%)、「週に1~2日」が176名(27.6%)、「週に3~4日」が84名(13.2%)、「週に5日以上」が82名(12.9%)であった。

(5)「ものごとに集中できなかった」への回答

「ない」が343名(53.8%)、「週に1~2日」が218名(34.2%)、「週に3~4日」が51名(8.0%)、「週に5日以上」が26名(4.1%)であった。

(6)「気分が落ち込んでいると感じた」への回答

「ない」が241名(37.8%)、「週に1~2日」が268名(42.0%)、「週に3~4日」が79名(12.4%)、「週に5日以上」が50名(7.8%)であった。

(7)「やることすべてに骨が折れると感じた」への回答

「ない」が361名(56.6%)、「週に1~2日」が184名(28.8%)、「週に3~4日」が53名(8.3%)、「週に5日以上」が40名(6.3%)であった。

(8)「将来に希望があると感じた」への回答

「ない」が189名(29.6%)、「週に1~2日」が257名(40.3%)、「週に3~4日」が119名(18.7%)、「週に5日以上」が73名(11.4%)であった。

(9)「これまでの人生は失敗だったと感じた」への回答

「ない」が419名(65.7%)、「週に1~2日」が142名(22.3%)、「週に3~4日」が41名(6.4%)、「週に5日以上」が36名(5.6%)であった。